

紀伊の風

令和8年(2026年)10月号
和歌山市立紀伊小学校だより
校長 松山裕一



〇〇の秋

食欲の秋、読書の秋、実りの秋、芸術の秋、スポーツの秋…。「〇〇の秋」にはいろんなものがあります。気候も過ごしやすくなって、食べ物もおいしい時期。いろんなことに打ち込める絶好の季節の到来です。とは言え今年も、「危険な暑さ」「猛烈な暑さ」が9月まで続きました。また、秋雨前線や台風による雨も続きました。ようやく過ごしやすくなりましたが、まだまだ暑い日が続いたり、朝晩だけが涼しくなり昼間との気温差が大きくなったり、秋雨前線の影響で雨の日が続いたり大雨になったりするかもしれません。体調を崩しやすい時期です。「早寝・早起き・朝ごはん」を中心に、生活リズムを整えるなどして体調管理には十分気をつけてください。



読書の秋

「読書の秋」という言葉は、唐の時代、韓愈(かんゆ)という詩人が詠んだ「灯火親しむべし(燈火稍可親)」という詩がもとになっていると言われています。意識すると、

秋の長雨もやみ空が晴れ渡る頃、
初秋の涼しさが郊外の丘にも広がり始める
秋の夜にはようやく灯りを親しむことができるので
書物を広げて読書を進めることができる

となります。

この詩には、「秋は過ごしやすい季節だから、夜には明かりを灯して読書をするのに最適だ」という意味が込められています。夜が長く涼しい秋は、静かに読書するにはぴったりの季節です。秋の夜長、ゲームやテレビを消して静かに読書してみるのもいいかもしれません。

